

## 23. 仕事に役立つ「工程設計とFMEAの実践」\*\*やさしく分かり、しっかり身に付く\*\*

新規納入先取引・新規部品の立上げでは、外部監査が必須になっている。本講座では、新規部品立上げ～量産までの流れや品質保証のキーポイントを実践事例を含めてわかり易く解説し、実用化リードタイム短縮と品質を向上させる方策を QC 工程図作成、設計・工程設計（QC 工程図）の FMEA ケーススタディーでリスクマネジメントを実践演習で体得することができます。

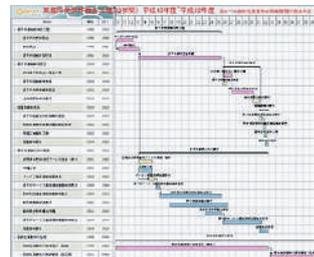
**Point!**

- 実用化リードタイム短縮、品質向上
- リスクマネジメント体得

$$Cpk = \text{Menor valor entre } Cpu \text{ y } Cpl$$

$$Cpu = \frac{LES - \mu}{3\sigma}$$

$$Cpl = \frac{\mu - LEL}{3\sigma}$$



主催：一般財団法人地域産学官連携ものづくり研究機構  
 参加費：MRO 賛助会員 10,000 円（一般：20,000 円）  
 会場：テクノプラザおおた研修室 太田市本町 29-1 Tel:0276-50-2100 Fax:0276-50-2110  
 募集人員：15 名程度。なお、応募人数が少数の場合は研修を中止することがあります。ご了承ください。

日程

研修内容

10/7 (月)	〔第 1 回〕	1) 試作受注～量産迄の各ステップの QCD 管理を向上させるための主要な流れと意義 2) QC 工程図 (工程表) の目的と使い方 3) 作業標準書の必要性と狙い 4) 各種指示書・帳票の役割とポイント 5) 演習：各社の部品について QC 工程図の作成とグループミーティング 6) 宿題：各社の難しい部品の QC 工程図 (工程・各種条件管理項目・水準) の作成依頼
10/15 (火)		
10/22 (火)		
10/29 (火)		
9:30 ~ 16:30		
	〔第 2 回〕	1) 各社で検討した QC 工程図の発表とグループミーティングと課題化 2) FMEA とは ①信頼性の概要と FMEA ②故障モードについて ③基本事項 ④FMEA の実施手順・実施例 ⑤評価法 など。
	〔第 3 回〕	3) 工程 FMEA とは ①工程の FMEA の実施手順・実施ポイント ②品質保証体制と FMEA ③QC 工程表と工程 FMEA 【演習】①設計の FMEA のケーススタディー ②工程設計 (QC 工程図) の FMEA
	〔第 4 回〕	4) 各社で検討した QC 工程図を工程の FMEA に基づく、リスクマネジメントの実践とグループミーティング (演習結果、相互質疑) 5) 全般の質疑応答・解説

**\* 講師プロフィール**

竹内光男 (MRO コーディネーター、群馬県能力開発協会 人材育成コーディネーター) 群馬大学 (機械工学科) 卒  
 経歴：マックス(株)生産技術、品質保証、生産工程～実用化の仕組み作り、企業内小集団活動と組織活性化  
 蓼沼愛一郎 (MRO コーディネーター) 群馬大学 (化学工学科) 卒  
 経歴：小倉クラッチ(株)技術本部、研究開発、生産技術、営業技術、品質管理の各部。  
 商品開発～市場拡販まで。現場改善および品質管理全般。群馬県中小企業サポーター認定

● HP から直接お申し込みができます



**受講料について**

- 受講後に請求させていただきます。支払いは、銀行振込とさせていただきます。MRO スキルアップ研修は、地域の中小企業のみなさまの便宜を図り、材料費、資料代、交通費などを勘案した最低限の受講料を設定しています。大変恐縮ながら、振込手数料につきましては、受講者様にご負担をお願いします。
- キャンセル料：開催日 1 週間前までは請求致しません。1 週間以内の場合は全額を請求いたします。キャンセルの連絡は、必ずメール・FAX など記録の残る手段でお願いします。 注) 1 週間：MRO (当財団) の 6 勤務日前 17 時までとします。

● 問い合わせ申し込み先：一般財団法人地域産学官連携ものづくり研究機構 tel : 0276-50-2100, fax : 0276-50-2110  
 E-Mail : mrokenshu(at)mro.or.jp ※(at) を @ に変えて送信してください。

### 23. 仕事に役立つ「工程設計と FMEA の実践」\*\*やさしく分かり、しっかり身につく\*\* 受講申込書

ご芳名 (ふりがな) :	所属	役職
ご芳名 (ふりがな) :	所属	役職
会社名	住所 〒	
TEL	FAX	E-Mail